

令和4年度 社会教育事業評価

資料 - 1

【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
I 学校・家庭・地域の協働
1 協働体制の構築

〔評価等の凡例〕 【実績】 A-成果があった B-少し成果があった C-あまり成果がなかった D-まったく成果がなかった
【中間】 ○-事業継続中 △-事業実施予定 --事業中止

区分	No.	事業名等	内容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率					
2 地域とともにある学校づくりの推進	1	地域学校協働本部事業(子どもを育てる地域の連携促進事業)	(対象)	町内三小学校・中学校	事業計画数(回)	128	111	87	延べ参加サポーター数(人)	2,000	1,397	70	A	コロナ禍による制約で学校支援活動が縮小し、参加サポーター数の減少が続いた。	コロナ禍が長期化し、学校支援ボランティア(サポーター活動)の制約が常態化した。今後、感染防止の徹底と工夫に加え、学校支援以外の協働活動を積極的に推進していく。	[学校支援以外の協働活動] 事業計画数:21回 参加数:612人
			(目的・内容)	(目的)幅広い町民・諸団体の参画によって、「地域全体」で子供たちの学びを支え、共に、「学校を核とした地域づくり」を目指す。 (内容)学校支援ボランティアを調整し、学校の要請により、学校支援活動を実施する。地域住民の発案による協働活動を具体化し、推進する。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費2,479千円 消耗品費48千円 賄費42千円												

IV 安心して子育てできる町
1 多様な保育ニーズへの対応

3 幼児教育の充実 V31	2	幼児鑑賞事業	(対象)	こども園の4歳～5歳児	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	206	206	100	A	豊かな感性を育むため芸術鑑賞を開催することは、文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。提供にとどまらず、効果の検証(アンケート等の実施)も行う。	文化の振興及び芸術文化鑑賞の推進は引き続き実施していく。	期日:令和4年11月9日(木) 会場:町文化会館 演目:『3びきのこぶた』 町立せいらう幼稚園 74名 ※はじめこども園 40名 ※ハーモニーこども園 34名 ※なないろこども園 58名 ◎ほしぞらこども園は不参加
			(目的・内容)	舞台芸術の鑑賞機会を提供し、こどもの情操教育に資することを目的とし、演目の選定は町内こども園と協議の上決定した。(対象者)今年度から民間こども園に案内し、希望したこども園が参加した。												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費(公演料1,386千円)												
3 幼児教育の充実 V31	3	家庭教育事業「子育て講座」	(対象)	小中学校の次年度新入学児童・生徒の保護者	周知回数(回)	4	4	100	参加者満足度(%)	100	95	95	A	コロナ禍のなか、席の近い人と意見交換を行うなど、感染対策を徹底したうえで実施できた。	保護者同士の交流、情報交換のための貴重な場として継続していきたい。また、今年から町や県の子育てに関する相談窓口の紹介も取り入れたため、継続して行っていきたい。	[開催実績] ・亀代小学校 令和4年9月13日 46人 ・山倉小学校 令和4年9月20日 55人 ・蓮野小学校 令和4年9月15日 43人 ・聖籠中学校 令和4年12月16日 138人
			(目的・内容)	(目的)家庭の教育力の向上 (内容)学校の協力を得て、各校の就学時検診、入学説明会時に学校を会場として家庭教育に関する講師を派遣する。開催時期は9～12月。講師は学校と協議の上選定する。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委託料(保育ルーム)22千円 講師謝礼22千円												

V 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	4	町民怪館 きもだめし ※新規事業	(対象)	町民	講座開催回数(回)	1	2	200	参加者満足度(%)	80	85	106	A	定員はすぐに満員となった。アンケートでも楽しかった、怖かった等の満足度は高かった。	人気の事業であったことから、次年度も継続して行いたい。	[開催状況] 期日:令和4年8月20日(土) 10月1日(土) 当初、1回の予定であったが、すぐに定員となり、その後も問い合わせが多かったことから2回開催した。
			(目的・内容)	夏の思い出作り。今まで町民会館に縁のなかった方についても足を運んでもらう。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品95千円、謝礼36千円、食料費36千円												
1.生涯学習の推進	5	優しいガーデニング講座 ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	10	10	100	A	座学、実践に分けて講座を行った。実践では町民会館の花壇やプランターにガーデニングを行い、受講者同士の交流も生まれた。アンケートでは、「またやってほしい」との声が4人から挙げられた。	チェックリストの提出、消毒検温の徹底、座席間隔の確保など、コロナ対策を徹底して実施することができた。終了後のアンケートでは「一人で作業するよりもみなさんとガーデニングができてよかった」という意見が散見されたため、今後も感染症対策を徹底した上で、可能な限り受講者の交流が生まれるような講座を実施していきたい。	[開催状況] 期日:令和4年5月29日(日) 会場:小ホール、町民会館花壇付近 保育ルーム付1名利用
			(目的・内容)	外部講師による、ガーデニングに関する講座												
			(予算科目)	公民館費 講師謝礼11千円												
			(主な経費)	対象者への郵送通知 84円切手×10通												
1.生涯学習の推進	6	シニアのためのスマホ講座 ※新規事業	(対象)	町内高齢者	講座開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	10	13	130	A	コロナ禍にあっても一定の需要があった。スマホショップの普及活動の一貫により講師負担なしで実施できた。	需要が根強いことから引き続き、年間2回程度実施する。	[開催状況] 期日:令和4年5月17日(火) 会場:公民館 小ホール
			(目的・内容)	AUショップを運営するテレパーク(株)職員によるスマートフォンの使い方教室												
			(予算科目)	なし												
			(主な経費)	なし												
1.生涯学習の推進	7	シニアのためのスマホ講座リターンズ ※新規事業	(対象)	町内高齢者	講座開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	10	8	80	A	コロナ禍にあっても一定の需要があった。スマホショップの普及活動の一貫により講師負担なしで実施できた。	5月に実施したが、人気があったことから2回目を実施。受講者アンケートでも「わからなかったところがよくわかった」等の感想をいただいた。	[開催状況] 期日:令和5年2月15日(火) 会場:公民館 小ホール
			(目的・内容)	AUショップを運営するテレパーク(株)社員によるスマートフォンの使い方教室												
			(予算科目)	なし												
			(主な経費)	なし												
1.生涯学習の推進	7	歴史博物館出前講座「お菓子と新潟」 ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	40	8	20	B	博物館専門職員からの歴史の講座により町民に最新の成果を紹介することができた。県の事業であることから費用負担はなし。	参加者は少なかったものの、今後も継続予定。	[開催状況] 期日:令和4年5月22日(日) 会場:公民館 小ホール 図書館との共催事業
			(目的・内容)	県博物館専門職員による歴史の講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	なし												
1.生涯学習の推進	8	ちくちくハンドメイド講座 ※新規事業	(対象)	就学前乳幼児の保護者、子育て中の主に母親(裁縫初心者)	開催回数(回)	4	6	150	延べ参加者数(人)	40	34	85	A	社会教育課職員が講師であることから、最小限の費用で実施できる。	令和2年度まではこども園の通園かばんづくり講座。アンケートでは「自分一人の時間が持てた」「ミシンの使い方や布の切り方等教えてもらい自分で作ることができた」との声があった。保育ルーム付により子どもの入園前の親から離れる練習になっている。	[開催状況] 期日:11月11・18・25日、12月2・9・16日 会場:第2・3会議室 保育ルーム 27名 12/16 ちくちくハンドメイド講座 受講者限定で「ハーバリウム講座」実施。参加者6名。「子育ての息抜きになった」「ママ友と話しながら楽しく作れて良かった」等アンケートからも満足度の高い講座であったことが分かった。
			(目的・内容)	(目的)こども園や小学校で使えるかばんづくりの支援。 (内容)社会教育課職員を講師として、時期は11月中旬～12月上旬。全4回講座。 ※参加者が園行事のため参加できない日があったため、回数追加												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委託料(保育ルーム)60千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	9	美文字教室	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	2	2	100	延べ参加者数(人)	30	22	73	A	・ボールペン編 参加12人(申込み15人) ・筆ペン編 参加10人(申込み12人) ・「対面で2人の先生に指導してもらったので分かりやすかった。」「名前や住所を添削してもらい、自分の字の変化に気づけ楽しく受講できた。」等、3年目の開催であったが好評だった。	筆ペン編の講座終盤に、ご祝儀袋の書き方のポイントを少し教えていただいたが、「祝儀袋、香典袋用で練習したい」という声もあった。そのため、講座のメインとして取り上げるのも需要があるように思う。	[開催状況] 期日:令和4年12月3日(土) 会場:小ホール 保育ルーム付(希望1人) 午前 ボールペン講座 午後 筆ペン講座 に分けて開催
			(目的・内容)	外部講師2名によるボールペン及び筆ペンの書き方講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)44千円、委託料(保育ルーム)1千円												
1.生涯学習の推進	10	※新規事業 珈琲講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	9	90	A	募集当日の屋に満員となるほど人気だった。アンケートでも楽しかった、知らないことがたくさん学べた等の満足度は高かった。	人気の事業であったことから、次年度も継続して行いたい。	[開催状況] 期日:令和4年10月29日(土) 会場:小ホール 保育ルーム付(希望無) 当日欠席1名
			(目的・内容)	外部講師1名による、コーヒーの味わいの違いを学ぶ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)11千円												
1.生涯学習の推進	11	※新規事業 日本茶講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	6	60	B	参加した方のアンケートでは楽しかった、とても勉強になったと、参加者の満足度は高かった。定員に対して6割の参加者だったので、周知方法については改善の余地が見込まれる。	満足度の高い事業であったことから、次年度も継続して行いたい。	[開催状況] 期日:令和5年1月21日(土) 会場:小ホール 保育ルーム付(希望無)
			(目的・内容)	外部講師1名による、日本茶の入れ方を学ぶ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)9千円												
1.生涯学習の推進	11	※新規事業 千支を描こう!	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	9	90	A	町民が事業の講師となっている。町民同士の新たなネットワークの構築や、講師・参加者双方の活動の場として、さらなる展開が期待される。	他事業と組み合わせての実施、周知方法の工夫等について検討しつつ、継続して実施する。	[開催状況] 期日:令和4年11月20日(日) 会場:小ホール 保育ルームなし
			(目的・内容)	外部講師1名による日本画講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円												
1.生涯学習の推進	11	※新規事業 ドライ&ブリザーブドフラワーで作るスワッグ講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	15	150	A	・親子での参加、祖母と孫での参加、友人と参加等、幅広い年代の方から参加していただいた。 ・アンケートからも「参加しなければこのような素敵なものを作ることはできなかったので良かった」等の声が寄せられていたため、満足度の高い講座であった。	「お花を使った作品で心が嬉しくなりました」「このような講座をいっぱいやってほしい」との声があったため、今後も継続して工作の講座を行っていきたい。	[開催状況] 期日:令和5年1月22日(日) 会場:小ホール 保育ルーム:1名
			(目的・内容)	外部講師1名によるスワッグ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円、委託料(保育ルーム)4千円												

1.生涯学習の推進	12	シニア学級 聖山大学	(対象)	60歳以上の町民	期間中授業回数(回)	0			登録者数(人)	0	—	事業への参加希望者が減少傾向にある。	事業内容の見直し、周知方法の工夫等を継続して行っていく。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年度に引き続き「第48期生」の募集は延期。 令和5年度から事業を再開し、「第48期生」の募集を行う。		
			(目的・内容)	(目的)高齢者に対し学びの機会と高齢者同士の交流の場の提供 (内容)子どもたちとの交流農作業体験、施設見学、体験学習、修学旅行など年間18回程度の事業を実施。定員30人		アンケート回答率(%)	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度募集は中止</p> <p>・令和元年度の「第47期生」がコロナにより途中で中止となっていたが、11月に再開、2月に修了式を実施。</p> </div>									
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	バス借上料297千円、講師謝礼27千円												
1.生涯学習の推進	13	シニアコーラス はまなす (旧 聖山大学OBコーラス)	(対象)	町内在住の60歳以上のシニア世代	期間中回数(回)	23	21	91	発表会参加・開催(回)	1	1	100	A	新たなコーラス団体として、自主活動を行っている。	町内在住の60歳以上のシニア世代を対象にした新たなコーラス団体として活動を展開していく。	令和元年度から「シニアコーラス はまなす」として活動を開始している。 従来の「聖山大学OBコーラス」は、平成30年度末をもって活動を終えた。 令和4年11月19日、町音楽祭に参加。
			(目的・内容)	(目的)高齢者に対し学びの機会と高齢者同士の交流の場を提供する。 (内容)合唱指導、音楽祭への出演など												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	講師謝礼217千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	14	メニークリスマスツリー	(対象)	町民及び近隣住民	周知回数(回)	2	7	-	ツリー数(本)	100	64	-	A	講座等と異なりコロナ禍で人を集中的に集めることなく、来館者の目を楽しませることができることから、効果は高いと考える。	寄贈もあることから、今後も継続すべきと考える	[開催状況] 期日:11月22日~12月20日 ツリー受付開始:11月8日 町内企業から廃材の協力あり 令和2年度から実施
			(目的・内容)	(目的)コロナにより多くの事業が中止となったが、せめて来館される利用者には少しでも明るい気持ちになってもらいたい。 (内容)クリスマスツリーの借用を広く周知し、多くのクリスマスツリーをプロムナードに飾る。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品												
1.生涯学習の推進	15	「文芸せいろ」発行	(対象)	投稿者:町内及び町内関係者	周知回数(回)	2	2	100	投稿作品数(点)	50	60	120	A	子どもから高齢者まで幅広い層から投稿してもらうことができた。しかし、投稿数が毎年減少傾向にある。今年にはLINEでの募集周知を行ったが、今後は成人式の案内封筒に募集チラシを同封する等、新たな周知方法を試していく必要がある。	文芸の灯を絶やさぬよう発行を予定	
			(目的・内容)	(目的)町内及び町内関係者に文芸発表の機会を提供する。 (内容)4名で構成される編集委員会を組織し、7月に原稿を募集、10月末を締切。編集者・投稿者による7回程度の校正を経て、3月中に冊子を印刷(部数200)。一冊500円で販売。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委員謝金40千円、印刷代274千円												
1.生涯学習の推進	16	社会教育委員	(対象)	-	会議開催回数(回)	2	1	50					評価対象外	例年2回の会議を開催している(事業計画と事業報告)。	選出区分の見直しを行い、社教委14人、公運審12人を兼ねての新たな体制となった。	[開催実績] 第1回合同会議 5月10日 第2回合同会議 12月6日
			(目的・内容)	(目的)教育委員会に対して社会教育についての助言を行う。 (内容)年2回 社会教育事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員14人												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報酬260千円												
1.生涯学習の推進	17	公民館運営審議会委員	(対象)	-	会議開催回数(回)	2	1	50					評価対象外	例年2回の会議を開催している(事業計画と事業報告)。	選出区分の見直しを行い、社教委14人、公運審12人を兼ねての新たな体制となった。	
			(目的・内容)	(目的)公民館長の諮問に応じる。 (内容)年2回 公民館事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員12人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報酬75千円												
1.生涯学習の推進	18	社会教育だより発行事業	(対象)	町民、関係機関・団体等	一月当たり発行部数(部)	4,700	4,700	100	年間発行部数(部)	56,400	56,400	100	A	社会教育に特化した月刊広報紙は県内で当町のみであり、社会教育分野に特化した情報提供ができていことから成果及び妥当性は高い。	次年度も、社会教育だよりを活用した生涯学習情報を提供していきたい。	町世帯数の増加により、必要部数が伸びている。令和5年度から発行部数を増やす。
			(目的・内容)	(目的)町社会教育課教育事業の情報を発信する。 (内容)月1回発行、発行部数4,700部												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	印刷製本費1,072千円												

V 人生100年時代の学び
2 青少年健全育成の推進

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 健全育成体制の充実 IV11	19	週末体験くらぶ	(対象)	小学校1年生～6年生	事業開催数(回)	40	38	95	参加者数(人)	800	588	74	A	前年度は各小学校にタブレット端末を通じて事業の広報を行ったが、今年度は紙媒体が目にとまるとのことで全校配布を行った。	継続して実施していく。	4月23日～3月11日の間実施。
			(目的・内容)	(目的)週末の子どもの活動場所の確保、体験活動の機会を提供する。 (内容)町公民館を主会場に、毎週土曜日の午前中に子どもたちの体験学習の場、機会を提供する。延べ参加予定者800人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費398千円 消耗品費45千円 バス借上料60千円												
1 健全育成体制の充実	20	わんぱくキャンプ	(対象)	小学校5年生、6年生	周知回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	30	36	120	A	コロナ禍を考慮し、日帰りで計画・実施した。子どもたちに自然の活動を体験してもらうことができる希少な事業である。	事業運営にあたり、多くのスタッフ(青少年育成員、大学生ボランティア、職員等)が従事していることから、事業の在り方も含めた見直しが必要と考えられる。	[開催実績] 期日:令和4年8月10日(水) 会場:県立少年自然の家(阿賀野市) ※スポネットせいらう委託事業 コロナ禍を考慮し、日帰りで計画、実施
			(目的・内容)	(目的)児童の自然体験、三小学校の児童間の交流の場の提供 (内容)青少年宿泊施設等を利用した野外活動体験。沢登、野外炊さんなど。大学生ボランティアや青少年育成員の協力により実施している。												
			(予算科目)													
			(主な経費)	スポネットせいらうへ委託												
1 健全育成体制の充実	21	成人式	(対象)	年度末年齢21歳(R2検討委により対象年齢の見直し)	会議開催回数(回)	2		2	参加者数(人)	130		76	A	新成人の通過儀礼として妥当性は高いと考える。また、町外に転出した新成人が参加しやすいように、お盆帰省時期の8月に例年実施することで一定数の参加者が確保されているものと推察される。	次回(R4.8.14実施分)から名称を「二十歳を祝う会」に変更し、継続実施。	・R2に教育委員と社教委の対象年齢見直しを含めた検討会を行い、成人年齢の民法改正も加味し、R2の対象者はR3に実施することとなった。 R3の成人式は、実行委と協議の上、R4へ延期することとなった。 今年度の対象者はR2からの繰り下げ実施。
			(目的・内容)	(目的)ふるさとへの愛着の醸成 (内容)新成人の自発的な式典の企画・立案による成人式の実施(実行委員会形式による)。対象者約200人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品(式典花、記念品等)150千円 アルバム印刷費120千円												
1 健全育成体制の充実	22	二十歳を祝う会(旧:成人式)	(対象)	年度末年齢21歳(R2検討委により対象年齢の見直し)	会議開催回数(回)	2		2	参加者数(人)	130		99	A	二十歳という節目を迎えるための通過儀礼として妥当性は高いと考える。また、町外に転出した対象者が参加しやすいように、お盆帰省時期の8月に例年実施することで一定数の参加者が確保されているものと推察される。	人生の節目をお祝いするイベントで必要不可欠、県内で廃止した市町村は無い。継続実施。	・R2に教育委員と社教委の対象年齢見直しを含めた検討会を行い、対象年齢を年度末20歳から年度末21歳に変更した。 前回対象者が新型コロナウイルスにより延期となっていたため、今年度は成人式と二十歳を祝う会を二日続けて実施した。
			(目的・内容)	(目的)ふるさとへの愛着の醸成 (内容)対象者の自発的な式典の企画・立案による式典の実施(実行委員会形式による)。対象者												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品(式典花、記念品等)150千円 アルバム印刷費120千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項		
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率						
1 健全育成体制の充実	23	青少年健全育成町民会議	(対象)	町の青少年	協力事業数(回)	2	2	100	協力等参加者数(人)	11	16	145	A	青少年の健全育成を目的とする事業に協力していることに限らず、自主事業として行う小中学生を対象とした「家庭でのメディアコントロール」標語事業は、一定の成果を上げている。	令和元年度で「明るい家庭」印刷事業を中止。令和2年度から「メディアコントロール」標語事業を実施。 こども110番メンテナンス事業、図書類自販機等の立入調査(県依頼)を行う。	[協力実績] ・「きもだめし」8名協力(2回) ・「お正月公民館まつり」は共催8名協力		
1 健全育成体制の充実	24	「家庭でのメディアコントロール」標語事業(町民会議事業)	(対象)	町内小・中学校の5年生児童・2年生生徒	生徒へ周知(人)	282	217	77	作品点数(点)	282	217	77	A	青少年の健全育成の対策の1つとして、ネット環境の利用について、家族で話し合い、再検討させることが目的。	令和2年度からの新規事業。 (明るい家庭づくり文集作成事業に替わるもの)。8月に小学5年生と中学2年生対象に実施。 今後も継続する予定。	各校の優秀者を決め、町民会議役員が各校で表彰を行う。		
1 健全育成体制の充実	25	青少年健全育成員	(対象)	町の青少年	事業実施数(回)	2	4	200	育成員数(人)	21	21	100	A	「青少年を取り巻く社会環境調査」と「こども110番看板メンテナンス事業」に取り組み、地域の青少年健全育成に貢献している。	地域の青少年健全育成活動と共に、重要視される公民館事業への人的支援を継続していく。	[協力実績] ・わんぱくキャンプに3名協力 ・「青少年を取り巻く社会環境調査」の実施3名 ・きもだめし8名協力 ・「こども110番看板メンテナンス事業」 時期:令和5年2月実施。 古くなった看板を取り換え等の確認や新規候補等の確認		
青少年健全育成事業 I 11	26	町PTA連絡協議会補助金	(目的・内容)	(目的)保護者組織への支援 (内容)協議会事業(町P連だより発行等)への活動費助成	町P講演会開催数(回)	1	1	100	参加者数(人)	100			A	学校と保護者が一体となり、よりよい教育環境の提供を行うため、事業費補助をおこなっている。講演会開催、たより発行の一部に補助されており、PTA連絡協議会の活動を支援している。	講演会の開催及び機関紙の発行など、家庭と地域をつなぐ活動を展開している。	研修会 3月15日 会場 山倉小学校 役員参加者 25名 一般会員 オンライン参加		
青少年健全育成事業 I 11	27	地域青少年健全育成活動補助金	(目的・内容)	(目的)育成会等の支援 (内容)集落の育成会や子ども会への活動費助成	イベント活動回数(回)総数	30	44	147	団体数(団体)	17	17	100	A	育成会の活動を支援している。各育成会の貴重な財源となっている。新型コロナウイルスによる活動中止している団体もあるが、以前のような活動を再開している会が増えてきている。	希望する育成会や子ども会に活動助成を行っている。 青少年育成の一助にもなるので、今後も継続したい。			
			(予算科目)	青少年問題協議会費														
			(主な経費)	補助金196千円														
			(目的・内容)	(目的)子どもたちがメディアやネット依存にならないよう、その使用についての認識を深める活動。 (内容)町内小中学校の児童・生徒に家族で話し合いながらメディアコントロールの標語づくりをお願いする。その後とりまとめ、各校の入賞作品を選定し発表。														
			(予算科目)	青少年問題協議会費														
			(主な経費)	町民会議へ支出する町補助金でまかない、参加賞等60千円														
			(対象)	町の青少年														
			(目的・内容)	(目的)青少年健全育成 (内容)有害図書等環境に係る実態調査、「わんぱくキャンプ」「お正月公民館まつり」などへの人的協力(公民館との共催事業)。子ども110番看板メンテナンス事業。委員数21人														
			(予算科目)	青少年問題協議会費														
			(主な経費)	報償347千円 旅費21千円														
			(目的・内容)	(目的)保護者組織への支援 (内容)協議会事業(町P連だより発行等)への活動費助成														
			(予算科目)	公民館費														
			(主な経費)	補助金140千円														
			(目的・内容)	(目的)育成会等の支援 (内容)集落の育成会や子ども会への活動費助成														
			(予算科目)	青少年問題協議会費														
			(主な経費)	補助金621千円														

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 文化の創造・遺産の保存	32	町音楽祭	(対象)	合唱・吹奏楽団体、その他音楽愛好者(主にアコースティック)	出演者・団体数(組)	10	10	100	観客数	400	239	60	A	2年ぶりに開催した、久しぶりの開催で観客数こそ少なかったが、出演者からは待ち望んでいたとの声が多くあった。新規参加者もあり、一定の成果があった。	今後も継続して行う予定。	期日: 令和4年11月19日(土) 会場: 町文化会館
			(目的・内容)	(目的)練習成果を発表する機会の提供 (内容)広報誌を利用して出演者を募り、文化会館で発表会を行う。												
			(予算科目)	文化会館費	アンケート回答率(%)	10	8	80	アンケートに基づく満足度(%)	80	100	125				
			(主な経費)	消耗品費(プログラム作作用紙)、ピアノ調律手数料20千円												
1 文化の創造・遺産の保存	33	にいがたジュニアコーラスフェスティバル2023 ※新規事業	(対象)	新潟市、阿賀野市、聖籠町で活躍する6つの少女少女合唱団	出演者・団体数(組)	6	6	100	観客数	318	172	54	A	・新潟市、阿賀野市、聖籠町で活動する6つの合唱団が互いの演奏を聴き合うことで、「演奏の質の向上と、各合唱団の活動の活性化」が期待できる。 ・新型コロナにより3年ぶりの開催となったため、関係者のみを観客として迎えた。	次回はりゅーとびあ、次々回は、北区文化会館で開催予定。	[開催状況] 期日: 令和5年2月12日(日) 会場: 町文化会館
			(目的・内容)	(目的)練習成果を発表する機会の提供 (内容)文化会館で発表会を行う。												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	印刷製本費(プログラム)98千円、委託料ピアノ調律手数料20千円、会場整理員20千円、保育ルーム11千円、食糧費3千円												
1 文化の創造・遺産の保存 V11	34	「みんなで歌おう会」講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	12	12	100	延べ参加者数(人)	240	321	134	A	講師及び役員が中心となり、主体的に会を運営している。	将来的には自立した会として運営をもらう方向としたい。	[開催状況] 4月から3月(月1回) 全12回
			(目的・内容)	(目的)合唱を学ぶ機会の提供、サークル化への育成支援 (内容)講師による講座を月1回開催、発表の機会提供(町音楽祭など) 登録参加予定者70人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)182千円												
1 文化の創造・遺産の保存 I22	35	お正月公民館まつり	(対象)	幼児～小中学生、幼児や小学生の保護者	周知回数(回)	2	2	100	参加者数(人)	200	180	90	A	様々な外部協力者に協力してもらい、事業を行えている。	現在コロナ禍により町内全体で行う全体のふれあいはできないが、各学区でのふれあいは行っている。今後も継続すべきと考える。	[開催状況] 期日: 令和5年1月9日開催 会場: 町民会館一体育館 コロナを考慮し、学区に分けて3回実施した。
			(目的・内容)	(目的)子どもと大人の昔の遊びを通じたふれあいの機会を提供する。 (内容)毎年1月上旬に開催。町民会館を会場に、射的・お手玉づくり、かるた・羽子板・メンコ・コマ、駄菓子屋、カルメ焼き、綿菓子などのブースを設営。青少年健全育成町民会議、町女性団体と共催。	アンケート回答者数(%)	20	12.0	60	参加者満足度	80	98	123				
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	謝金79千円、消耗品28千円、食料費71千円、備品借上30千円 計208千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 文化の創造・遺産の保存	36	文化財保護事業	(対象)	文化財	周知回数(回)	12	12	100	文化財周知状況満足度(審議会委員)	80	100	125	A		今後も文化財保護のため継続して周知する予定。	普及周知事業:社会教育だよりの歴史普及マンガ掲載12回:私塾絆己楼について
			(目的・内容)	(目的)町有形・無形文化財の保護 (内容)町文化財の指定、保護管理の奨励、文化財調査審議会の開催、広報誌を通じた普及啓発、古民家の調査等 町指定文化財所有者に対する適正維持管理を奨励するための補助金(有形37,000円、無形46,000円) (参考)町指定文化財数:建造物4点、工芸絵画等12点、民俗2点 史跡記念物3点												
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	40	30	75	文化財欠損・破損数(件)	0	1	#DIV/0!				
			(主な経費)	審議会委員報酬 97千円 根上松管理委託料 770千円 文化財維持管理補助金(4件)157千円												
1 文化の創造・遺産の保存	37	埋蔵文化財保護事業	(対象)	埋蔵文化財	埋蔵文化財保護状況(%)	100	100	100	調査未実施による文化財の破損件数(件)	0	0		評価対象外		今後も継続して行う予定。	[試掘調査]蓮濁地区ほ場整備(119ha)1件 [確認調査]4件 [本調査]1件
			(目的・内容)	(目的)文化財保護法に基づく保護 (内容)開発前に遺跡の有無を確認。ない場合でも状況により試掘調査を行う。ある場合は工法により協議を行い調整する。開発により遺跡が保護されない場合は発掘調査を行う。	(調査実施件数/要調査件数)											
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	20	15	75								
			(主な経費)	賃金5,683千円、委託料5,274千円、借上料1,497千円												
1 文化の創造・遺産の保存	38	歴史文化啓発事業(小中学生対象) ↓ (新規)ふるさとだいき講座 ※新規事業	(対象)	町内の小中学生	出前授業実施回数(回) 資料館含	3	3	100	延べ参加者数(資料館含む、人)	130	131	101	A	今年度より町として町をより知ってもらい郷土愛を育むために「ふるさとだいき講座」として、歴史、偉人、観光、東港の講座を行っている。	「ふるさとだいき講座」としては初年度なので、内容や実施学年検討し次年度につなげたい。	小学校3～6年生 児童数565名
			(目的・内容)	(目的)生徒・児童に町の歴史や文化について学んでもらう。 (内容)学芸員が小中学校に出向き、町史編さんでまとめた町の歴史や、町で出土した土器を持ち込み、授業を行う。 その他、民俗資料館の説明解説も行う。												
			予算科目	文化財保護費	アンケート回収率(%)	90	95	106	アンケートに基づく満足度(%)	100	90.0	90				
			(主な経費)	なし												
1 文化の創造・遺産の保存	39	『続・聖籠れきし草子』作成 ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	動画作成町指定文化財数	22	21	95	販売・寄贈冊数	200	155	78	A	町の文化財や歴史についての冊子を作成することにより多くの人々が見ることができるようになった。	5年で1冊子作成している。掲載が続けばまた5年後に3冊目を作成予定。	発行に併せてマンガ原画展をブロムナードで開催(6/1～6/26)
			(目的・内容)	(目的)町の歴史や文化財を知ってもらう。 (内容)社会教育だよりで毎月掲載している文化財のマンガの2冊目の総集編を発行する。500冊印刷。												
			(予算科目)	文化財保護費												
			(主な経費)	242千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 文化の創造・遺産の保存	40	文化財PR動画作成 ※新規事業	(対象)	町民及び近隣住民	動画作成町指定文化財数	22	6	27	再生回数	200	170	85	A	町の文化財を多くの人々に見ることができるようになる。併せて、現状の文化財を動画で記録保存することができる。	前年度に簡易版、今年度に詳細版を作成した。文化財のPR動画については一段落したものとする。	令和5月9日現在50～170回視聴
			(目的・内容)	(目的)町の歴史や文化財を知ってもらう。 (内容)昨年度、町の主だった文化財や史跡をわかりやすい動画を製作し町HPやyoutubeにアップ。町内外誰でも見れるようにした。今年度は、前回撮影した素材を利用し、詳細版を製作する。		※計画の22は町文化財総数。動画は6にしぼった										
			(予算科目)	文化財保護費												
			(主な経費)	275千円												